

一次・二次評価案の基本的な考え方について

一次評価案

1. 大項目を次の2点に分け、それぞれ中項目、小項目等を設定し評価を行う。

- ①立地条件等
- ②工事条件

2. 基本的な考え方

項 目	内 容 等
①立地条件等	自然環境、社会条件、周辺に配慮すべき事項等を中心に、既存の資料や文献等から、客観的な評価を行う。
②工事条件	現地確認及び1万分の1の地形図から造成工事の難易度等についての評価を行う。

二次評価案

1. 大項目を次の2点に分け、それぞれ中項目、小項目等を設定し評価を行う。

- ①候補地区の理解度・受容度等
- ②概略造成図による建設工事

2. 基本的な考え方

項 目	内 容 等
①候補地区の理解度・受容度等	地区の理解度や受容度、地権者の数等を中心に評価を行う。
②概略造成図による建設工事	一次候補地ごとに2千5百分の1の概略造成図面を作成し、数値の優劣等について客観的な評価を行う。